

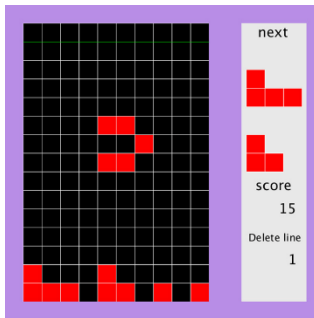
第38回工業教育研究発表大会

1月13日(木)本校で、高校生の工業に関する研究・作文を発表する機会を設け、生徒の創意工夫や研究活動を奨励する目的で標記大会が開催される予定でしたが、急激な新型コロナウイルス感染症拡大のため、ビデオ収録による研究発表になりました。

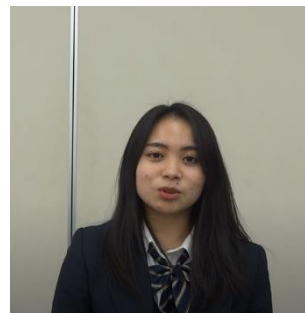
県内工業高校から、作文部門に7本、研究部門に7本のエントリーがあり、本校からは、作文部門には「紀北工業での3年間」の題名でシステム化学科3年生の辻も香さんが発表、研究部門には「ジオデシックドームの壁を作ろう!」の題名で機械科3年生の横山美颯さん、「Processingによる『ブロック消しゲーム』アプリケーションの製作」の題名でシステム化学科3年生の森田汐音くんの発表があり、合計3本の発表を行いました。



「ジオデシックドーム」とは、球体の表面を三角形のフレームで構成したドームです。特徴として、少ない材料で強度が保て広い空間を作ることが出来ます。今後期待されることは、避難場所等での「プライベート空間の確保」、「新型コロナウイルス感染症拡大防止」が考えられます。



【ブロック消しゲームの特徴】
・今までにないブロックの形
・makingモードでブロックをエディット
・全く新しいオリジナルの感覚で操作できるゲーム
※数々の賞を受賞しています。



【紀北工業での3年間】
中学時は勉強が苦でしたが、高校では、実習等の新しいことが学べるので勉強が「苦」と思ったことはありませんでした。部活動を通じて沢山のことを学び、精神的にも強くなりました。生徒会長を努め充実した高校生活を送るなどの内容を発表しました。

「和歌山県スポーツ賞」受賞 ウェイトリフティング競技・少林寺拳法競技 2月9日(水)

「和歌山県スポーツ賞」は、和歌山県教育委員会から、スポーツで功績があった個人や団体に贈られる賞です。2021年中に開かれた「全国高校総体」や「全日本大学選手権」など、全国規模以上の大会で上位に入った県勢の個人と団体が対象です。本校から、「ウェイトリフティング部の辻も香さん」と「少林寺拳法競技の森本拓海くん」が選ばれ、受賞しました。県内、74人の個人と17の団体が受賞し、ホテルアバローム紀の国で表彰式が行われました。おめでとうございます。



辻も香さん 森本拓海くん

